

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1067	(H.24)No.	1067
-----------	------	-----------	------

事務事業名		児童館管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
生活環境部		人権・男女共同参画推進室		久保 敬子	63-7559
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~ 平成	年度	児童福祉法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	100801
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	児童館管理費	
項	人権政策費	(小事業名)	
目	児童館管理費	児童館管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
児童福祉法に基づく児童厚生施設で、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする施設。	

めざす効果(事業目的)	
館外学習や週末行事、清掃活動など様々な事業を通して児童の健全な育成と地域交流に寄与する。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)			
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]			
主な事業の実績・計画	一ノ井施設維持管理委託料ほか 145千円 一ノ井工事請負費 197千円 需用費 967千円 一ノ井児童館 ・中学生教科学習会 ・小学生学習会 館外学習 ・児童健全育成事業 (学習会開催回数132回) 比奈知児童館 ・小中学生学習教室 ・児童健全育成事業 ・地域ぐるみの同和教育総合実践活動等 (学習会開催回数174回) 他		一ノ井児童館 ・中学生教科学習会 ・小学生学習会 館外学習 ・児童健全育成事業 ・農業集落排水接続工事関連委託料 1,180千円 工事請負費 7,720千円 比奈知児童館 ・小中学生学習教室 ・児童健全育成事業 ・地域ぐるみの同和教育総合実践活動等			
	直接事業費	1,912千円	11,108千円	2,667千円	2,667千円	2,667千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債		8,900			
	その他()	300				
一般財源	(0)	1,612	2,208	2,667	2,667	2,667
人工数	職員	2.05	2.10	2.10	2.10	2.10
	臨時職員等	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
概算人件費	(0千円)	15,985千円	16,350千円	16,350千円	16,350千円	16,350千円
+ 総事業費	(0千円)	17,897千円	27,458千円	19,017千円	19,017千円	19,017千円

現在の実施手法(複数選択可)	
市が直接実施	
業務委託(全部・一部)により実施	
指定管理	
補助金・交付金	
その他 ()	

	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
児童館の運営管理	児童館の運営管理	児童館の運営管理	児童館の運営管理

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	学習会開催回数(館外学習含む)	回	-	-	-	-
	実績			316	319	324	306
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
順調に目標を達成できている。	少子化が進むことも視野に入れ事業を推進し、より良い形で地域に寄与していきたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
少子高齢化が進むにつれ、対象児童が減少していくことが懸念される。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	館外学習を比奈知児童館と一ノ井児童館との共同で開催するなど、それぞれに行っている同種の事業を共同して事業効率の向上を図る。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	隣保館事業や教育集会所事業などと会場や職員体制の面で協力し、円滑な運営を図る。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	この事業に対し、対応した地域ビジョンはありませんが、児童の健全な育成はどの地域にとっても地盤のひとつになるものだと考えます。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	児童館を介し子どもたちが交流を持つことにより、地域の交流が活性化されていると考えます。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	児童館所在学区の小学校、中学校、保育所との連携を密にし、諸事業への協力を仰ぎ、事業内容の充実と運営体制の強化を図る。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
1067 款 民生費 総務費 項 同和対策費 人権政策費 に変更